

1 将来像について

本町は、第5次東郷町総合計画で東郷町が目指すまちの基本目標の1つとして「産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち」を掲げ、基本となる施策の1つとして「地産地消により農業の活性化を目指す」こととしています。

本町の農業施策を進めるためには、農業者のみならず、国、愛知県、あいち尾東農業協同組合等多様な主体の協働が必要不可欠です。

このような協働体制の下、名古屋市近郊に位置する立地条件を活かし、食料供給基地として、消費者のニーズを適時取り入れた都市近郊型農業を展開し、農業経営の安定化を図るとともに地産地消を推進します。

この東郷町農業基本計画は、**町民とともに育む元気な農業の実現**を将来像に掲げます。

これは、これからも消費者・生産者双方が農業の持つ多様な価値を共有し、みんなで支え合うことにより、にぎわいに満ち、次世代まで笑顔あふれる農業の実現を目指しているというものです。

2 基本理念について

農業は、私たちが生きていく上で欠かせない食料を供給しています。健康で充実した生活の基礎として重要な食料を安定的に供給するためには、持続可能な農業生産環境を確立する体制を整えていくことが必要です。

農業のまちとしての顔を持ちながら農業を維持・発展させていくためには、意欲ある担い手が継続的に確保される必要があるため、農業が儲かる産業、成長する産業として夢を持てるものにしていくことが重要です。

本町の農業の持続的な発展を図るため、認定農業者や新規就農者、企業の農業参入等を始めとした担い手を中心とした元気な地域農業の実現を目指します。

また、農業に活力がなくなると農地の荒廃が進み、食料供給や国土の保全等農業の役割を十分に発揮することができません。

このことから、消費や生産を充実させることによって「地域で農業を支えていく」ことや耕作放棄地の防止や解消に向けた対策と既存農地の確保を図ることが必要です。

良好な景観を形成する等、多様な価値を持つ農地を永続的なものにするため「農地を町民1人ひとりが共有する財産とし、その価値を認める」ことが大切です。



また、本町の水源のかん養は、豊かな自然環境によって育まれています。

農地は、水源かん養域に降った雨を一時貯留し、水質の浄化や河川の流量安定等の重要な役割を担っています。

今後は、これらの水源かん養機能を維持し、自然環境を保全していく必要があります。

町民が農産物の消費者であるだけでなく、農のある暮らしに関わる多様な恩恵を理解し、「農」にふれあい、暮らしに「農」を取り入れた、ゆとりと潤いのある生活を目指し、消費者・生産者双方の信頼関係を築くことを通じて、**意欲ある担い手による豊かな農業の実現と「農」のもたらす自然環境と共生した町民生活の実現**を推進します。

3 基本目標について

本町の将来像の実現のため、目指すべき農業振興の方向として、次の5つの柱で構成される基本目標を設定します。

東郷町の
農業の
基本目標

- ① 地産地消の拡大・推進
.....
- ② 地域特性を活かした農業振興の推進
.....
- ③ 多様な担い手の育成・確保
.....
- ④ 農地の有効利用
.....
- ⑤ 豊かな町民生活の創造

(参考)

| 基本施策 | 指標名 | 単位 | H23年 | 目標値 | |
|-------------------|-------------------------|----|------|------|------|
| | | | | H27年 | H32年 |
| 地産地消により農業の活性化を目指す | 地元の農産物を購入したいと思っている町民の割合 | % | 52.7 | 58.0 | 63.0 |
| | 認定農業者数 | 人 | 5 | 8 | 10 |

資料：第5次 東郷町総合計画

